

## 4. 資 料

# 東京消防庁

## 令和6年消防に関する世論調査票

皆様のより安全で安心な暮らしのために、本世論調査の結果を今後の消防行政運営に反映させていきます。是非、あなたのご意見をお聞かせください。

調査にご協力いただいた方には全員に、謝礼(QUOカード500円分)を集計完了後にお送りします。

### ～ 記入上の注意事項 ～

- 1 回答は調査票のあてはまる回答欄に☑又は番号に直接○印をつけてください。(質問は27問、所要時間は20分程度※です。) ※ 個人差があります。
- 2 質問によって、1つだけ選択していただくものや、複数選択していただくものがあります。質問文中の説明に沿って回答してください。
- 3 「その他」を選ばれた場合は、( )内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 ご多忙中大変恐縮ですが、10月3日(木)までにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

### ※ 本調査票は、郵送回答の他、インターネット回答も可能です。

インターネット回答の場合は、下記アドレスへアクセスしてください。

◆ パソコンからの回答はこちらから

<https://rsch.jp/f5d4f06128a0fbda/login.php>

◆ スマートフォンからの回答は右記QRコードを読み取ってください。

なお、受付画面に下記のIDとパスワードを入力後、回答してください。



ID		パスワード	
----	--	-------	--

インターネット回答につきましても、10月3日(木)までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

【問合せ先】 東京消防庁 企画調整部 広報課 都民の声係 (担当：田中)  
電話：03-3212-2111 内線：2325 FAX：03-3212-1027  
Mail：tfdinfo@tfd.metro.tokyo.jp



ご協力いただきありがとうございます。  
質問数は27問です。(所要時間 20分程度)  
ご回答のほどよろしくお願いいたします！

## I 地震に関すること

大地震発生時の行動や備えについてお聞きします。

Q1 あなたが家にいる時、揺れを感じました。あなたは、まず何をしますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 テーブルの下に身を寄せるなど、身の安全を図る
- 2 火の元を確認する
- 3 戸や窓を開け避難路を確保する
- 4 外に出る
- 5 そのままの状態様子を見る
- 6 その他(具体的に

)

家庭での地震に対する備えについてお聞きします。

Q2 あなたの家での、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の実施状況を、次の中からいっただけ選んでください。

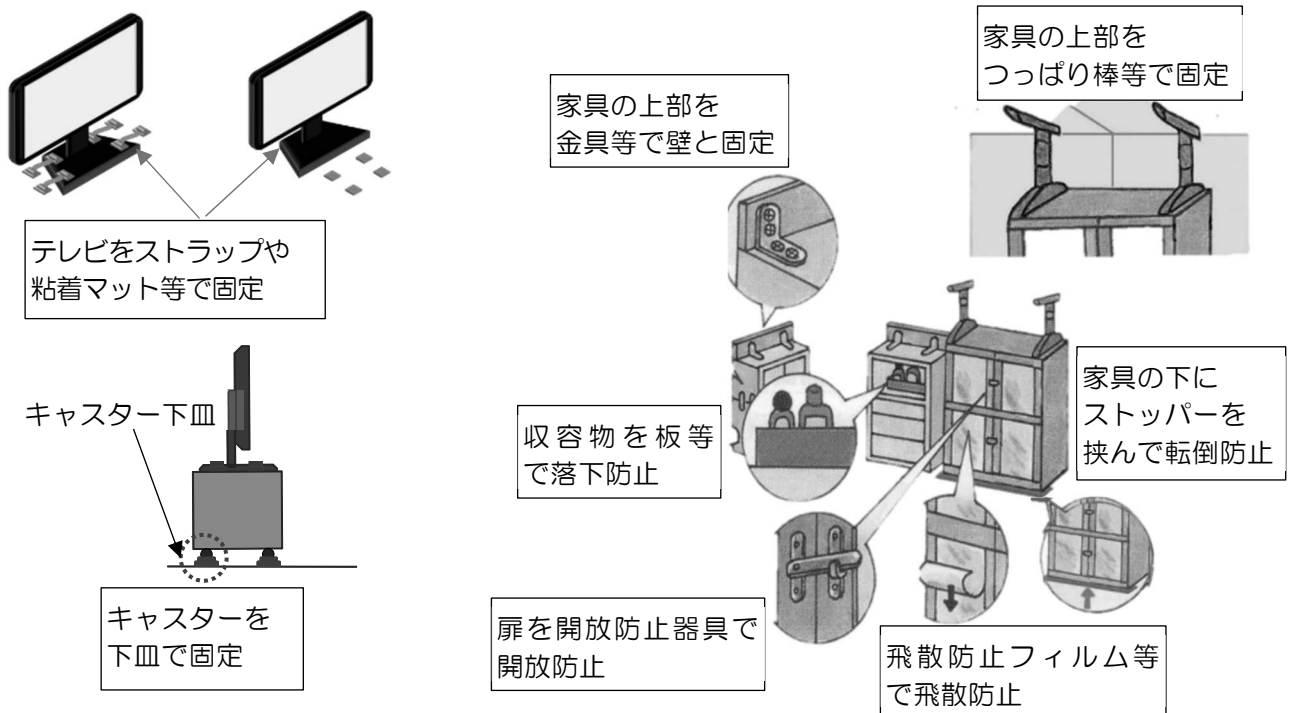
- 1 すべての家具類に実施している (→Q4へ)
- 2 一部の家具類に実施している (→Q3へ)
- 3 倒れる可能性のある家具類がない又は家具を置いていない (→Q4へ)
- 4 実施していない (→Q3へ)

参考

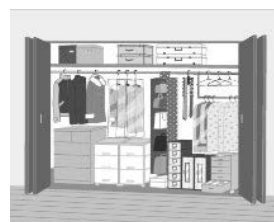
近年、日本で発生した大きな地震では、家具類が転倒、移動、落下したことにより、多くの方が負傷しています。

【 図 】

①「家具類の転倒・落下・移動防止対策」例



②「倒れる可能性のある家具類がない」例



Q3 Q2で2又は4を選んだ方にお聞きします。家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施していない又は一部にしか実施していない理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 対策について考えたことがない
- 2 面倒である
- 3 家具レイアウトの変更や棚の下に重い物を収納する等の工夫をしている
- 4 地震で倒れるとは思わない、倒れたとしても危険だと思わない
- 5 ほとんど家にいない
- 6 お金がかかる
- 7 対策方法がわからない
- 8 建物の壁に取り付けられる場所がない
- 9 壁や家具にキズを付けたくない
- 10 建物が免震又は制振構造である
- 11 その他（具体的に )

## Ⅱ 119番通報に関すること

119番通報がつながりにくい場合の行動についてお聞きします。

Q4 令和5年中の119番通報は過去最多件数を更新しました。  
通報の増大により、119番通報がつながりにくい場合があります。  
あなたは119番通報がつながりにくい場合、何コールまで待つことができますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 2コール（6秒）まで待てる
- 2 3コール（9秒）まで待てる
- 3 5コール（15秒）まで待てる
- 4 7コール（21秒）まで待てる
- 5 10コール（30秒）まで待てる
- 6 10コール（30秒）以上待てる

Q5 119番通報がつながりにくい場合、あなたはどうしますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 つながるまで電話を切らない
- 2 消防署・消防出張所に通報する
- 3 つながるまで何度もかけなおす
- 4 複数の電話から同時に通報する（別の電話からも通報する。周囲の人にも通報を依頼するなど）
- 5 他の機関（警察等）に通報する
- 6 何も思いつかない
- 7 その他（具体的に ）

### Ⅲ 救急に関すること

今までに、救急車を呼んだ（119番通報した）ことがある方にお聞きします。  
救急車を呼んだことがない方は選択肢 13 をお選びください。

Q6 あなたが救急車を呼んだ理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 生命の危険があったと思った
- 2 軽症や重症の判断がつかなかった
- 3 自力で歩ける状態でなかった
- 4 救急相談先（#7119）を思い出せなかった
- 5 どこかに相談しようとしたが連絡先が分からなかった
- 6 どこの病院に行けばよいかわからなかった（夜間・休日を含む）
- 7 交通手段がなかった
- 8 病院へ連れて行ってくれる人がいなかった、または連れて行けなかった
- 9 救急車で病院に行った方が優先的に診てくれると思った
- 10 家族や知人、居合わせた人に薦められた
- 11 「#7119」を利用したときに救急車を呼ぶことを案内された
- 12 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
- 13 救急車を呼んだことはない

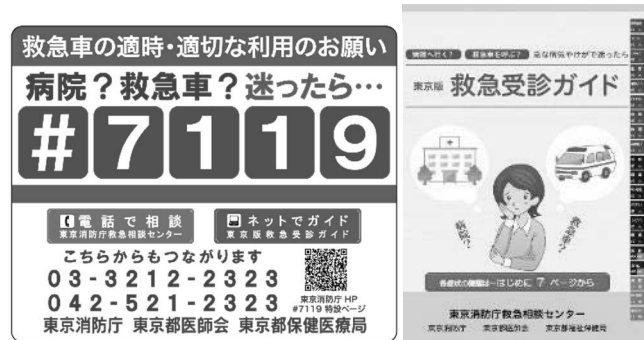
回答番号 12 は、救急車を呼んだ理由が番号 1～11 に該当しない場合に選択してください。

## 「#7119」について

Q7 「病院へ行くか、救急車を呼ぶか」迷った時に電話やインターネットから相談できる「#7119※」を知っていますか。または、利用したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 利用したことがある
- 2 利用しようとしたが、電話が繋がらなかった
- 3 どのような時に利用するものかは知っているが、利用したことはない
- 4 名称程度は知っているが、どのような時に利用するかまでは分からない
- 5 知らない

※ 「#7119」とは、電話で症状の緊急性について相談できる「東京消防庁救急相談センター」とインターネットや冊子により自身で症状の緊急性や受診科目などを確認できる「東京版救急受診ガイド」を総称したものです。



応急手当についてお聞きします。

Q8 都民の方を対象に様々な応急手当を学ぶ救命講習が行われています。あなたが受けたことのある講習を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 応急救護講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の短時間の講習）
- 2 救命入門コース（小学校中・高学年等を対象とした講習）
- 3 普通救命講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の3時間程度の講習）
- 4 上級救命講習（3の講習内容に外傷応急手当等を加えた8時間程度の講習）
- 5 応急手当普及員講習（普通救命講習等の指導要領を学ぶ講習）
- 6 受けたことがない（Q9へ）
- 7 その他（具体的に

）  
（6以外を選んだ方はQ10へ）



Q9 Q8で6を選んだ方にお聞きします。救命講習を受けていない理由を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 講習を受ける時間がない
- 2 講習に行くのが面倒
- 3 講習を受ける必要性がない
- 4 講習を受けなくても、応急手当ができる
- 5 講習をやっていることを知らなかった
- 6 その他（具体的に \_\_\_\_\_）

Q10 あなたの周りの人が急病やけがで心肺停止となり、応急手当が必要となった時、あなたは胸骨圧迫（心臓マッサージ）、人工呼吸、AED（自動体外式除細動器）のいずれかができますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 応急手当の方法を知っているから、実施できる （→Q12へ）
- 2 応急手当の方法を知っているが、実施できない （→Q11へ）
- 3 応急手当の方法を知らないので、実施できない （→Q12へ）

Q11 Q10で2を選んだ方にお聞きします。あなたが、応急手当を出来ない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 かえって悪化させることが心配だから
- 2 誤った応急手当をしたら責任を問われそうだから
- 3 感染などが心配だから
- 4 怖いから
- 5 自信がないから
- 6 その他（具体的に \_\_\_\_\_）

## IV 防災に関すること

防火防災訓練などについてお聞きします。

Q12 あなたが最近1年間で参加したことのあるお住まいの地域や職場、学校などでの防火防災訓練や自衛消防訓練、東京消防庁主催のイベントなどがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消火訓練
- 2 応急救護訓練（AEDの取扱い、胸骨圧迫（心臓マッサージ）など）
- 3 避難訓練
- 4 救出・救助訓練
- 5 水災に関する訓練
- 6 地震の揺れから身を守る訓練（起震車による地震体験など）
- 7 VR防災体験車による災害疑似体験
- 8 映像等による防災学習
- 9 AR機器を活用した消火・避難訓練
- 10 防災講演会、座談会、シンポジウムなど
- 11 その他（具体的に \_\_\_\_\_）
- 12 どれも体験・参加したことがない（→Q13へ）  
（11以外を選んだ方はQ14へ）

Q13 Q12で12を選んだ方にお聞きします。参加したことがない最も大きな理由を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 過去に参加したことがある訓練と同じような内容だから
- 2 一緒に参加する人がいないから
- 3 訓練に関心がないから
- 4 休養したいから
- 5 訓練の時間帯が合わないから
- 6 訓練のあることを知らなかったから
- 7 その他（具体的に \_\_\_\_\_）

Q14 あなたが知っているものを次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消火器の使い方
- 2 スタンドパイプの使い方
- 3 可搬消防ポンプ（C級・D級）の使い方
- 4 119番通報のしかた
- 5 火災による煙が発生した際の避難のしかた
- 6 大地震が起きた時に想定されるマンション等の共同住宅における特有の危険性\*
- 7 いずれも知らない

※停電や大きな揺れにより、エレベーターが停止した場合は、けが人などの避難が困難になる  
※スプリンクラー、屋内消火栓が使えない場合は、火災が拡大する恐れがある など

## V 消防団に関すること

消防団<sup>\*</sup>についてお聞きします。

Q15 消防団<sup>\*</sup>を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている (→Q16へ)
- 2 名前は聞いたことがある (→Q16へ)
- 3 知らない (→Q20へ)

※ 消防団は様々な仕事につきながら「わが街を守る」という使命感のもと、自営業や会社員、主婦や学生などで組織されている消防機関です。

火災が起きた際には自宅や職場から現場に駆けつけて消火活動を行うほか、町会などで行われる初期消火訓練や避難訓練などの指導を行います。



Q16 Q15で1又は2を選んだ方にお聞きします。地域の安全・安心を守るため、あなたは消防団に入団したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 入団したい (→Q17へ)
- 2 条件が合えば入団してもよい (→Q17へ)
- 3 入団したいと思わない (→Q18へ)
- 4 現在、消防団に入団している (→Q20へ)

Q17 Q16で1又は2を選んだ方にお聞きします。あなたが入団を検討する  
としたら、消防団について必要な情報は何か。次の中からいくつでも選んで  
ください。(Q17回答後はQ19へお進みください)

- 1 活動内容の詳細
- 2 活動の頻度
- 3 活動時間の長さ
- 4 実際に活動している人の声
- 5 報酬及び手当等の詳細
- 6 入団方法
- 7 受講できる講座や研修内容
- 8 その他(具体的に )

Q18 Q16で3を選んだ方にお聞きします。消防団に入団したいと思わない  
理由を次の中からいくつでも選んでください。(Q18回答後はQ19へお進み  
ください)

- 1 活動する時間がないから
- 2 活動内容は知っているが、自分がやりたくないから
- 3 消防団についてよく知らないから
- 4 関心が無いから
- 5 体力的に難しいから
- 6 その他(具体的に )

Q19 次の内容は、消防団の待遇についてです。あなたが知っていることを、  
次の中からいくつでも選んでください。

- 1 年額報酬が支払われる
- 2 災害や警戒で出場した場合は、手当が支払われる
- 3 功労に応じて表彰制度がある
- 4 消防団活動でけがなどした場合は、補償制度がある
- 5 消防団の活動服や制服が支給される
- 6 特別職の地方公務員である
- 7 全て知らない

## Ⅵ 火災予防に関すること

消火器等についてお聞きします。

Q20 あなたのご自宅内に消火器等はありますか。次の中からいくつでも選んでください。（複数回答可）

※マンションやアパート等の共有部分（廊下等）にある消火器は含みません。

- 1 消火器がある（→Q22へ）
- 2 住宅用消火器がある（→Q22へ）
- 3 エアゾール式簡易消火具がある（→Q22へ）
- 4 消火器等はどこにもない（→Q21へ）

消火器には使用期限があります。定期的に点検、交換を行い、いざというときに備えましょう。



消火器

住宅用  
消火器

エアゾール式  
簡易消火具

Q21 Q20で4を選んだ方にお聞きします。消火器等がない理由を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消火器等の使い方がわからない
- 2 消火器等が販売されている場所がわからない
- 3 消火器等の価格が高い
- 4 消火器等を置くスペースがない
- 5 消火等の必要性を感じない
- 6 自宅（マンションやアパート等）の共有部分に消火器があるため必要性を感じない
- 7 自宅の近くに街頭消火器があるため必要性を感じない
- 8 消火器等を備えることについて考えたことがない
- 9 その他（具体的に ）

住宅用火災警報器<sup>※1</sup>についてお聞きします。

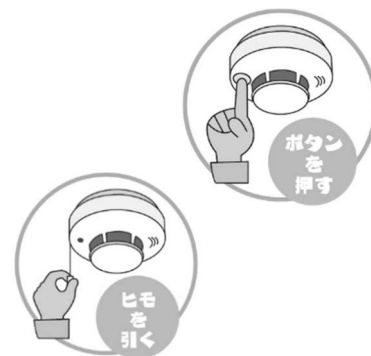
Q22 住宅用火災警報器の本体交換や定期的に作動確認<sup>※2</sup>をすることについて知っていますか。当てはまるものを1つだけ選んでください。

- 1 設置から10年以上経過した場合、本体交換が推奨されていることを知っている
- 2 定期的な作動確認が必要なことを知っている
- 3 どちらも知っている
- 4 どちらも知らない

※1 住宅用火災警報器とは、煙や熱を感知すると警報音や音声を発して火災を知らせる機器です。火災の感知だけでなく、ガス漏れも感知する複合タイプもあります。(法令に基づきマンションなどに設置されている自動火災報知設備や単独のガス漏れ警報器とは異なります。)



※2 作動確認とは、住宅用火災警報器の本体に付いているボタンを押すことや、ひもを引くことによって住宅用火災警報器が正常に作動しているかを確認することです。正常な場合は、正常を知らせる音声や警報音が鳴り、音声等は自動で停止します。



Q23 お住まいの住宅用火災警報器の設置状況<sup>※3</sup>を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 全てに設置している
- 2 一部に設置している
- 3 自動火災報知設備又はスプリンクラー設備が設置されているため、住宅用火災警報器は設置していない (→Q27へ)
- 4 全く設置していない (→Q27へ)

※3 住宅用火災警報器は、全ての居室(居間、ダイニング、子供室、寝室など)、台所、階段に設置が義務付けられています。

Q24 設置されている住宅用火災警報器の中で一番古いものは、設置してから10年を経過していますか？また、経過していない場合は理由も含めて当てはまるものを1つだけ選んでください。

- 1 10年経過している
- 2 10年経過していない（理由：交換済のため）
- 3 10年経過していない（理由：設置してから10年未満のため）
- 4 不明

Q25 最近、半年間に住宅用火災警報器の作動確認を行いましたか。次の中から1つだけ選んでください。半年間に作動確認を実施したことが無い方も、可能であれば作動確認を行い、2を選んでください。

- 1 実施した（最近半年間に実施した）（→Q26へ）
- 2 実施した（今回のアンケート調査時に実施した）（→Q26へ）
- 3 未実施（→Q27へ）
- 4 不明（→Q27へ）



Q26 Q25で1又は2を選んだ方にお聞きします。作動確認を実施した結果はどうか。当てはまるものを1つだけ選んでください。  
（設置されている住宅用火災警報器に1つでも不良があれば「2 電池切れ・故障」）を選択してください

- 1 異常はなかった
- 2 電池切れ・故障
- 3 不明

住宅用火災警報器は、機器の劣化や電池切れ等により火災を感知しなくなるおそれがあることから、設置から10年を目安に本体交換を推奨しています。  
また、正常に作動しているか定期的(半年に1回以上)に作動確認をすることも大切です。



## Ⅶ 消防行政に対する要望

Q27 東京消防庁に特に力を入れてほしいと思う取組を、下記AからDの分野について、それぞれいくつでも選んでください。

### A 火災などの災害に関する取組

- 1 日常における火災、救助への対応
- 2 大地震などによる大規模災害時への対応
- 3 台風、集中豪雨などによる水害・土砂災害への対応
- 4 放射性物質、生物剤（炭そ菌等）、危険物及び毒劇物等の特殊な災害への対応
- 5 火山の噴火等による火山災害への対応
- 6 消防団の災害対応
- 7 都外及び国外への災害活動支援
- 8 その他（具体的に )

### B 救急業務に関する取組

- 1 救急隊の現場活動
- 2 応急手当（AEDの使い方など）の普及活動
- 3 救急相談センター（#7119）のサービス内容
- 4 その他（具体的に )

### C 都民のみなさまの防災行動力向上に関する取組

- 1 地域における防火防災知識に関する普及啓発活動
- 2 地域における防火防災訓練指導
- 3 学生や児童への防火防災に関する普及啓発活動
- 4 高齢者や身体障害者など要配慮者への防火防災に関する普及啓発活動
- 5 消防博物館や防災館などの防火防災に関する施設の充実
- 6 その他（具体的に )

### D 火災予防に関する取組

- 1 事業所（共同住宅の共用部分を含む）への防火防災指導
- 2 不特定多数の人が集まる施設への防火防災に関する規制
- 3 火災発生時の危険性が高い施設の公表
- 4 防火上優良であると認定された建物の表示
- 5 暮らしの中の火災事例に関する情報提供
- 6 その他（具体的に )



ご回答ありがとうございました。  
最後になりますが、統計に必要な情報を教えてください！

<フェイスシート>

ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、お答えを統計的に分析するために必要なことについて差支えのない範囲でお答えください。

**お住まいの地域** ( ) 区・市・町・村)

**性別** 1 男性 2 女性 3 回答しない

**年齢** 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代  
5 50代 6 60代 7 70代 8 80代以上

**ご職業** 1 自営業主 2 家族従業（家業手伝い）  
3 勤め（フルタイム） 4 勤め（パートタイム）  
5 主婦・主夫 6 学生  
7 その他の無職  
8 その他 ( )

**世帯構造** あなたの世帯について当てはまるものを教えてください。

1 単身世帯 2 夫婦のみ世帯 3 親（養育者含む）と子のみ世帯  
4 三世帯世帯 5 その他の世帯

**世帯構成** あなたご自身、もしくは同居している方の中に、次にあてはまる方がいらっしゃれば、すべて選んでください。

1 未就学の乳幼児 2 小学生  
3 中学生 4 高校生  
5 大学生・専門学校生等 6 65歳以上の方  
7 病気などで寝たきりの方 8 身体の不自由な方  
9 いずれもない

**住居形態** あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。

1 一戸建て  
2 マンション・アパート（何階にお住まいですか→ 階）  
3 社宅・公務員住宅・寮・寄宿舍など（何階にお住まいですか→ 階）

**建物構造** あなたのお住まいの構造は、次の中のどれにあたりますか。

1 耐火造（鉄骨造、コンクリート造など）  
2 耐火造以外

**所有区分** あなたのお住まいの所有区分は、次の中のどれにあたりますか。

- 1 持家（家族所有含む）
- 2 賃貸

**消防との関わりについて**

消防と関わった経験について、次にあてはまる内容があればすべて選んでください。

- 1 救急車を呼ぶため119番通報をしたことがある
- 2 火災など、災害で119番通報をしたことがある
- 3 仕事で消防署に行ったことがある（届出、申請、相談など）
- 4 訓練や講習、イベントで消防署に行ったことがある
- 5 消防署に郵送やメールを活用して相談や手続きを行ったことがある
- 6 東京消防庁のホームページや公式アプリを活用したことがある
- 7 特に関わりはない
- 8 その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）

東京消防庁に関するご意見やご提案がございましたら、ご自由にお書きください。

以上で調査は終了です。  
ご協力いただきまして、ありがとうございました！



<お知らせ>

東京消防庁では119番通報が急増した場合、職員を増強して対応しています。火災や事故などの発生時に119番通報しても、つながりにくい場合がありますが、つながるまで電話を切らないでください。また、近くの消防署や消防出張所でも対応することができますので通報してください。一つのけがや病気に複数の電話機で通報すると、回線が混み合ってしまう、受付の確認作業にも時間を要します。救急通報する場合は、一つの電話でお願いします。

東京消防庁についてさらに詳しく知りたい方は

○東京消防庁ホームページ

⇒<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

○東京消防庁公式アプリ

⇒ダウンロードはQRコードから



## (2) 調査地点一覧

地点	人口 (18歳以上)	地域 拠点数	区市町村	人口 (18歳以上)	地点数	抽出地点		抽出地点		抽出地点		抽出地点		抽出地点								
						町丁	人口	町丁	人口	町丁	人口	町丁	人口	町丁	人口							
(1)	都心	401,429	9	千代田区	54,519	1	二番町	1,650														
				中央区	140,614	3	銀座8丁目	599	日本橋本町2丁目	208	日本橋茅場町3丁目	690										
(2)	山手	879,593	19	港区	206,296	5	麻布十番1丁目	1,090	麻布台3丁目	1,000	北青山1丁目	1,306	芝大門1丁目	762	南麻布5丁目	2,110						
				新宿区	272,881	6	若葉3丁目	978	備 濃 町	952	市谷本村町	2,705	市谷加賀町2丁目	1,797	戸山3丁目	1,118						
				文京区	184,865	4	水道1丁目	2,708	小日向3丁目	1,379	西片1丁目	2,545	本駒込6丁目	3,932								
				渋谷区	191,969	4	渋谷1丁目	2,085	松濤1丁目	1,378	本町3丁目	4,702	神宮前3丁目	3,036								
				豊島区	229,878	5	西薬師3丁目	2,323	南池袋1丁目	2,259	高田2丁目	3,794	長崎5丁目	2,887	千川2丁目	2,512						
				台東区	174,065	3	高輪4丁目	3,316	上野7丁目	1,299	清川1丁目	2,193										
(3)	下町	1,012,013	22	墨田区	237,259	6	南国3丁目	2,027	立川一丁目	1,393	本所二丁目	1,642	吾妻橋一丁目	2,211	堤通一丁目	2,298						
				江東区	429,254	10	常盤2丁目	1,238	森下5丁目	1,446	白河4丁目	4,178	富岡2丁目	1,869	有明2丁目	2,422						
(4)	東部	1,505,816	33	足立区	569,505	12	大谷田二丁目	2,187	加平一丁目	2,896	栗原三丁目	3,732	江北七丁目	1,918	島根一丁目	1,934						
				葛飾区	381,999	9	中央本町二丁目	3,315	花畑七丁目	1,144												
(5)	西部	2,385,109	52	目黒区	233,574	5	駒場4丁目	1,525	大橋1丁目	2,707	三田1丁目	2,253	下目黒5丁目	3,908	南2丁目	2,552						
				世田谷区	768,211	17	赤堤1丁目	4,541	梅丘2丁目	3,344	岡本2丁目	2,206	奥沢4丁目	2,189	粕谷3丁目	2,839						
(6)	南部	955,901	21	品川区	339,030	7	東品川2丁目	1,743	南品川3丁目	2,101	西五反田6丁目	3,171	大井1丁目	5,403	西大井6丁目	3,234						
(7)	北部	762,916	17	北区	289,590	6	豊島4丁目	3,027	東十条2丁目	2,484	西が丘2丁目	1,872	志茂5丁目	3,862	赤羽南2丁目	1,721						
				板橋区	473,326	11	加賀一丁目	5,682	稲荷台	2,724	大山町	4,416	富士見町	4,508	小茂根3丁目	2,849						
(8)	西多摩	316,168	7	青梅市	111,456	2	裏宿町	814	長瀬2丁目	1,615												
				福生市	46,031	1	加美平3丁目	1,888														
				羽村市	45,163	1	双葉町2丁目	1,968														
				あきる野市	66,939	1	二宮	4,911														
				瑞穂町	27,011	1	籍根ヶ崎西松原	2,250														
				日の出町	13,607	0																
				檜原村	1,812	0																
				奥多摩町	4,149	1	海津	540														
				(9)	南多摩	1,114,948	25	八王子市	472,462	11	追分町	1,579	千人町3丁目	2,154	元本郷町2丁目	1,320	本町	1,803	明神町2丁目	2,435		
				(10)	北多摩西部	550,361	12	立川市	155,023	3	柴崎町4丁目	2,071	初川町2丁目	2,507	一番町2丁目	2,214						
昭島市	94,926	2	田中町1丁目					2,575	松原町5丁目	1,505												
国分寺市	106,975	2	本町3丁目					1,925	光町3丁目	1,609												
国立市	63,938	2	西3丁目					1,431	青柳3丁目	1,387												
東大和市	71,263	1	高木2丁目					1,120														
武蔵村山市	58,236	2	中央2丁目					1,185	岸1丁目	1,317												
小平市	161,402	4	たかの台					1,983	小川東町4丁目	1,081	御幸町	2,780	花小金井6丁目	1,994								
清瀬市	127,126	3	久米川町1丁目					3,862	多摩湖町4丁目	1,667	野口町4丁目	1,624										
東久留米市	62,718	1	松山二丁目					2,515														
西東京市	97,524	2	上の原一丁目					1,623	滝山三丁目	1,236												
(11)	北多摩北部	619,921	14	西東京市	171,151	4	南町4丁目	2,110	西原町5丁目	1,234	ひがしのが丘北4丁目	1,066	下保谷2丁目	1,647								
				武蔵野市	123,616	2	吉祥寺南町2丁目	2,702	桜堤3丁目	1,071												
				三鷹市	157,753	4	井の頭三丁目	2,258	中原四丁目	4,124	北野三丁目	2,088	井口一丁目	3,778								
				府中市	215,722	5	朝日町2丁目	1,403	白米台2丁目	2,676	押立町5丁目	1,497	新町3丁目	2,005	清水が丘1丁目	1,499						
				調布市	199,278	4	飛田給3丁目	2,077	小島町2丁目	2,830	多摩川4丁目	913	仙川町3丁目	1,625								
				小金井市	103,215	2	桜町2丁目	1,565	東町2丁目	3,014												
				狛江市	69,330	2	元和泉一丁目	1,171	東野川二丁目	1,639												
市町村部合計				3,470,312	77																	
合計				11,373,089	250																	

### (3) 東京消防庁に関するご意見やご提案

東京消防庁に関するご意見やご提案を任意に記入していただいたところ、多数のご意見が寄せられたので、以下のカテゴリーに分類した。

- 「日頃の活動についての感謝や励ましについて」
- 「広報活動・情報提供・知りたいことなどについて」
- 「調査に協力して初めて気付いたこと、改めて感じたこと」
- 「救急車の利用について」
- 「その他の要望など」
- 「その他」

#### ■日頃の活動についての感謝や励ましについて

- ・ 頑張ってください。消防も救急救命も心から感謝し応援していますコンビニもガンガン利用して英気を養ってください（40代男性）
- ・ 人命にかかわる大変な仕事だと感じております。ご苦労様です。（60代男性）
- ・ いつもご活動ありがとうございます。私自身がお世話になったことはございませんが、今後いつお世話になる事になるか分からないので活動には積極的に協力したい所存です。学生時代の人命救助の講習は今でも覚えていますのでごくいい活動だと感じます。救急車の音がうるさいなど変な意見が多いとは思いますが、「人命第一」ですので堂々と活動してください。あなた方はうるさくも邪魔でもございません。尊敬できる職業の方々です。これからもよろしくお願い致します。ありがとう（20代女性）
- ・ 感染症コロナ、熱中症と厳しい勤務態勢に心から感謝そして隊員の皆さまの健康を心配しております。今後も自分自身がお世話にならなくてすむよう、健康に気をつけるよう対策を心がけるつもりです。いつも、ありがとうございます。（50代女性）
- ・ いつも区民の為にお仕事ありがとうございます。急に起きてしまう緊急事態に備えて、日頃から訓練されている姿を拝見し、尊敬しております。私達区民も、自助に努め、なるべくお世話にならないようにするべきだとは思いますが、素人にはどうしようもない事態ではお願いしてしまう事もあると思います。その時はどうぞよろしくお願い致します。（40代女性）
- ・ 日頃、消防署の皆様には大変お世話になっております。署内で行われている隊員各位の訓練、実際の消火活動、救急活動、大変ご苦労さまです。特にコロナ禍以降の救急活動が逼迫している現状におきましては連日、頭がさがるばかりです。私個人においても、微力ではありますが、可能な限り尽力する所存でございます。今後も、東京消防庁の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。（70代男性）
- ・ 活動ありがとうございます。必要な方に必要な時に助けられる仕組み作りをお願いします。そのために住民全体が、それぞれが出来る範囲で協力するコトは必要だと思いますので、リーダーシップ発揮して対応をお願いします。（40代男性）
- ・ 消防庁の皆さまの活動で我々都民は安心して生活しております。いつなにが起るかわからない今日、各人が防災意識を持ち、災害等に備え、被害が最小限におさまることを願います。（50代男性）
- ・ イベントで消防の方にお会いしたことがあります。とてもかんじがよく楽しく、子供と有意義な時間を過ごすことができました。息子が小さい頃、消防車から手を振ってくれた姿はとても素敵でかっこよかったです。大変なお仕事、いつもお疲れさまです！（30代女性）

- ・ 去年、電気スイッチから異臭がしたときに初めて出動要請しました。迅速なご対応に感謝しました。(40代女性)
- ・ 小1の娘が消防車の絵で入選しました。ありがとうございます。私は石川県出身です。大きな地震の後、水害があり報道を見てショックを受けています。映像で、消防や救急、警察の方々が頑張ってくださってる姿に励まされます。いつもありがとうございます。感謝しております。(40代女性)
- ・ 火災の際の消火活動以外にあまり知らなくて申し訳ないです。これからも身体に気をつけてがんばってください。(50代 性別未回答)
- ・ 消防署の前を通った時に運動している消防士の方々をよく目にします。いざという時のために訓練をしてくださってありがとうございます。頑張ってください。(40代女性)
- ・ 国民の生命をお守りいただき感謝しております。消防隊員の方々の生命の安全にも十分ご配慮いただき御活動される事を願っております。(60代男性)
- ・ 119番へ通報させていただいた際、心臓マッサージの動画を送ってもらって指示をもらいながら対応しました。おちついて対応することができありがたかったです。(40代女性)
- ・ 消防に携われる方にいつも感謝しています。昔働いていた職場の近くに消防署があり、消防の方が日常訓練に励んでいる姿にいつも感謝していました。気をつけて御活動を。(70代女性)
- ・ 24時間365日緊急対応していただき安心して毎日常生活できます。ありがとうございます。(80代以上女性)
- ・ 3年前隣家からもらい火した辛い経験者です。その節は大変お世話になりました。ありがとうございます(80代以上女性)
- ・ 日頃よりありがとうございます。街と人の生命を守る活動を日々頑張る方々が待遇面でも厚遇されることを望みます(50代女性)
- ・ 私自身も交通事故で救急車のお世話になっていますし家族も心筋梗塞など何度もお世話になっています。いつも人の生死に関わる仕事で大変だと思いますし、来てくれた時の安心感は忘れられません。これからも頑張ってください(60代女性)
- ・ 火災、事故、そして近年多くなっている災害の中での皆様のご活動には頭の下がる思いです。お一人お一人の身の安全を第一にお仕事に従事されることをいつも願っています(70代女性)
- ・ 最近地震の発生も多くまた降雨ですら災害になる可能性が高くなっていると感じます。レスキュー等の活躍を大いに期待しています。頑張ってください(20代男性)
- ・ 日々事故・火災等多岐にわたって地域の安全、安心のためご尽力いただきありがとうございます。心より感謝致しております(40代女性)
- ・ 訓練の様子を消防署前で時折見かけるが見ると頑張っているんだなと思い感謝の念が絶えない。もっと見える化してアピールしたらいいと思う(50代男性)
- ・ 地域や家の近くの商業施設でのイベントで様々なことを子供たちに経験させてくださりとても感謝しています(30代女性)
- ・ 都民のためや国のために日々の活動に感謝いたします。これからもお仕事頑張ってください(50代男性)
- ・ この夏の熱中症が多かったので大変ご苦労様です。特にこれから毎年夏に熱中症が多くなるので大変な仕事だと思います(70代女性)
- ・ 東京都は救急車や消防車の出動がとて多いと思いますが頑張ってください。いつもありがとうございます(30代女性)
- ・ 消防のことは詳しくありませんが、災害の時等救急車を見ると感謝しています。(80代以上女性)

- ・地域の消防団の方々には日頃から感謝しています。これからも地震など自然災害や火事など起こると思います。その際は力を借りたいと思います。ありがたいです。頼るだけでなく自分たちでも対処できるようアドバイスをいただけたら嬉しいです。(50代女性)
- ・たまに巡回をされているのを見かけますが頼もしく思っています。防災ハンドブックなど昔より普及に積極的に嬉しいです。いつもありがとうございます。(50代女性)

#### ■広報活動・情報提供・知りたいことなどについて

- ・火災報知器の運用についてはもう少し具体的に、周知されるべきかと考えます。これに関して、すべての部屋に設置が義務付けられ、さらに10年ごとの交換が必要となるとかなりシビアな条件になり、徹底が難しいのではないかと考えます。例えば、我が家では台所設置分については東京ガスとの契約なので、10年経過で交換の案内が来たが、自分で設置したものは設置時期とか管理が不十分になってしまっている。(70代男性)
- ・町内会のイベントで消火器の使い方講習をしてもらいたい(50代女性)
- ・機会があれば、消防講習や災害講習などの啓蒙活動を進めて欲しい。家具の転倒防止策や防止や補強する器具が何処で、手に入るかなどをもっと教えて貰いたいと思う。(50代男性)
- ・町会・自治会等に向けての防災訓練の啓蒙活動(70代女性)
- ・どのような時に救急車を呼ぶべきかについての普及活動を今以上にしていきたい(40代男性)
- ・いつもご苦勞様です。なかなか難しいこととは思いますが不要な救急車使用を控えさせる方を積極的に打ち出すべきではないかとおもいます(有料化など)また老人のみのご家庭などの火災や事故などの危険性についても啓蒙いただけると安心します(50代女性)
- ・家庭の火災の例と、どうすれば防げるのかをまとめた簡単な冊子などがあれば配布して欲しい。また、火元が火を使わない火災(トラッキング火災や家電の老朽化)について、どのようなものがあり点検・対策はどのように行うのかを知りたい。(20代男性)
- ・日頃の訓練(消防署内での)を拝見する事は、住民に限らず、観た人へ火災への啓蒙に繋がると考えます。備えの訓練は大切です。地域住民に限らず見た人全てに啓蒙されると信じたい。よって、これらの訓練、救急に関してもっとPRしても良いと思います。とにかく、PCやSNSに向きがちですが、高齢者(70代半ばから80代)はやはりTVです。既に実施している事かも知れないが、企業CMように繰返しの放映は、火災、救急への思考力に影響させる近道では?(60代男性)
- ・火災警報器(自宅)がベランダからの風に反応したのか音が鳴り続け故障しました。この後はどこに連絡すればいいのか。何かわかりやすい情報が欲しいです(40代女性)
- ・消火器の買い方を教えてください。AED講習を受けやすくしてほしい個人だとしにくい。(60代女性)
- ・消防の活動に関するイベント、内容等を披露する機会について、もっと知りやすい周知活動をしてほしい(60代女性)
- ・外でサイレンが鳴った時、『どこで火事が起きているのか』いつも知りたいと思っている。公式のHPやXでお知らせして欲しい。(50代男性)
- ・救命の講習会が開かれている場所や日程など、案内をたくさんして欲しい。(50代女性)
- ・毎日ご苦勞様です。夏の暑い日は本当に救急車が多く、ありがとうございます。車を運転していることはこの頃サイレンがどこから向かっているかわかりにくいです。もう少しわかりよければもっと協力が出来る。歩行者が信号で待たない人がいる(救急車等)。もっと緊急車両が来たら信号渡らないようにPRした方が良いのではと思います。(50代女性)

- ・ YouTube や SNS 等で若い方々に防災予防や避難方法についてや実際にあった火災事例など普及をしてはいかがでしょうか（30代女性）
- ・ #7119 の認知度を上げるよう TV や新聞などどんどん発信していただきたいです（40代女性）
- ・ 119 番がつながりにくくなっているとは驚きでした。本当にそうなったときの2次手段や、救急訓練など、今はスマホが普及しているので、うるさいほど出るバナー広告のような形でいいから普及させてほしいです。（50代女性）
- ・ 繋がりにくかった（何度も電話した）が通じたら親切に対応していただいた（#7119 も）。軽いもので呼んだ場合は有料にする等、より重症な人が繋がりがよくなれば良いと思う。判断に迷う人がかけるのは「まず#7119」をもっとアピールしたら良いと思う。（30代女性）
- ・ 消火道具を家に置きたいのですが、高い事と怪しい店舗から購入したくないので消極的になってしまいます。手軽に買える消火道具を消防庁から紹介して欲しいです。（40代女性）

#### ■調査に協力して初めて気付いたこと、改めて感じたこと

- ・ このような無作為にアンケート回答者を選ぶように、講習への参加義務を無作為に実施すれば防災意識が高まる人が増えていくと思った。私自身、普段防災について考えたことがなかったため、このアンケートを通じて意識しなければと思ったため。（30代女性）
- ・ 今回アンケートを受けて、緊急時の知識がほとんど無いことに気付きました。ただ、地域の講習だと参加する日程確保が難しいのと、なんとなく参加しづらい感覚があります。会社や学校で講習があると参加しやすいです。でも、自分でもこれを機にアプリを入れてみたり調べてみたりしてみようと思います。（20代 性別未回答）
- ・ いつもありがとうございます。大変なお仕事だと思いますが、それで助かっている方がたくさんいると思います。今回のアンケートで自分の防災意識が低いことがわかりました。フルタイムでなかなか講義などを受ける時間を作るのが難しいですが、自分でできる準備をして皆様のお手をわずらわせない努力をしようと思いました。講義はビデオなどいつでもどこでも見られるような形で展開して、年に一度の視聴を必須にするなど出来れば若年層への啓発も促進できると思いました。これからも応援しております。（20代女性）
- ・ 今回のアンケートを機に講習や消防団について改めて調べようと考えました。このような取り組みは地味ながら意識向上に非常に有効だと感じました。（50代男性）
- ・ このアンケートを通して、活動を知ることができました。（20代女性）
- ・ いつもありがとうございます。これまでの消防庁業務に加え、気候変動などにより自然災害が増えたり、救急車連絡などについてのイタズラなどのニュースには、とても心をいためております。私どもが出来る事は限られますが、今回のアンケートで気づきもあり、日常に取り入れるよう努力させていただきます。（40代女性）
- ・ このアンケートの内容を見て防災意識が高まりました。イベント等で PR、地域での活動を今後も続けていただきたいです。（60代女性）
- ・ 消防、災害対策について知らないことや普段意識できていないことに改めて気がつくいい機会となりました。ありがとうございます。（20代女性）
- ・ 火災が起きたら何もできなそうなことを、このアンケートで気づきました。啓蒙活動は大事なもので、YouTube やインスタで沢山あげてほしいです（50代女性）
- ・ 全国地域の安心安全の為日々のご活動に感謝しております。今回のアンケートにおいて自身の知識不足や意識不足を認知できました。自分にできる事から始めたいと思います。（30代女性）
- ・ いつも本当にありがとうございます。今回の調査に参加できたことで、地震などの災害時の対応や



防火防災についての知識を身につけておく事の大切さを改めて立ち止まって考えることができ、日々の暮らしの中にもっとその意識を取り入れて(それが当たり前となるように)過ごせたらと思いました。自分の周り(家族・職場・友人)と、対応・対策について(最初は雑談の流れから)知識の共有・学び合いの時間をつくれたらと思います。消防庁のホームページも普段なかなか見ることはありませんでしたが、今後は都度確認していこうと思いました。(30代女性)

- ・ 日頃からの備えとして何に気をつけるべきか点検表のようなリーフレット等があると防災への意識が高まりそう。本アンケートだけでも始めて知ることがあり、定期的に情報を発信頂けるとありがたい。(30代女性)
- ・ 繋がるまで電話を切らない、複数の電話機で通報すると回線が混み合うため一つの回線でする、は今回そうだなと初めて認識しました。このようなことはみんなが当たり前になっているといいなと思いました。すでにそういう人が多いのかもしれないが。このアンケートをして気付かされたことがたくさんありました。(60代女性)
- ・ この調査への回答で改めて自身の意識の低さを認識しました。また、火災報知器の作動点検ができました。ありがとうございます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。安全のため全ての活動に感謝します。重ねてありがとうございます。(30代女性)
- ・ 今回のようなアンケートは非常に良いことだと感じました。知らないことが多々あり家族で話し合う機会になり大変素晴らしい取り組みに感じました。(30代女性)
- ・ 日頃から都民のためにありがとうございます。こうした調査によって日常生活を見直す良い機会になりました(60代女性)
- ・ 改めて消防について考える時間を取ることができました。ありがとうございました(30代女性)
- ・ 消防団の待遇についてこのアンケートで初めて知ることができた(50代 性別未回答)
- ・ 日々の弛まぬ訓練の積み重ねが私どもの生活を守ってくれていることに感謝しています。今回の内容を振り返り防災に対して意識を高めて生活しないといけないと改めて感じました。知識不足な点が多く見られたので日々の中で関心を持っていきたいと思います。ありがとうございました。(40代女性)
- ・ いつもご苦労様です。公式アプリがあることを知らなかったです。活用してみます(50代女性)
- ・ いつもありがとうございます。防災に対する意識をもっと持たないといけないと感じました(30代女性)
- ・ 公式アプリを知らなかったのでダウンロードしました。区の新聞等に載せればもっとたくさんの方が利用すると思います。P12の住宅用消火器の使い方を教えてもらい購入できる機会があれば利用したいです(50代女性)
- ・ アンケートが役立ってより安全性が守られることを願っています。防災などのイベントは働きに出ている世代だと、なかなか情報が届かないように感じるので、受け取れるようになるといいなと感じます。(30代女性)
- ・ 講習などを受けるのは時間の制約等があり難しいので、スマホなどで簡単に情報を日々取り入れられるようなサービスがあると良いと感じました。アプリがあることはこの調査依頼の同封チラシで初めて知ったので、活用していきたいです。(20代女性)

#### ■救急車の利用について

- ・ 救急で何度もお世話になっています。助かります。ありがとうございます。(80代以上男性)
- ・ 救急時の出勤に対して、有料化(利用者から徴収)しても良いと思う。(40代男性)
- ・ 運ばれたときに、丁寧に対応していただき感謝。ただし、よく言われるように、なかなか来なかつ

- た。私は幸い出血は止まっていた。が、出血が止まらなかつたり、意識がもうろうとして来たりした場合には、かなりの不安と恐怖を感じる人もいると思う。(50代男性)
- ・ 軽度な症状での救急車出勤が多いとききます。マイナンバーカードなどを使って、例えば5年間の無償の対応回数制限などの抑制も妥当性があると思います。(60代男性)
  - ・ 救急隊のみなさま毎日ご苦労様です。消防と救急の署内割合が合っていないと思われます。もっと救急の割合を増やすべき(50代男性)
  - ・ 救急車や119通報の不正利用の是正。本当に困った人のために、録音の上で会話の途中でも即切る、しつこいなら警察通報、手術不要なら救急車に数万円とかにしないと、いつまでもタクシー代わりにされる。もっと現場が毅然とできるような体制を作るのが上の仕事。現場にしわ寄せさせないように。(40代女性)
  - ・ 最近救急車の出勤が多く大変なことだと思えます。自分が以前お世話になりましたので本当に有り難いと思えました。不必要な要請が無くなる事を願います(80代以上女性)
  - ・ 救急車が逼迫しているとの情報をよく耳にします。日本も海外のように救急車の有料化を進めるべきだと思います。でないとなんか必要な人が救急車を利用できなくなります。(60代男性)
  - ・ 救急車の出勤がとて多いように思えます。ご苦労様です。(70代女性)
  - ・ 何回か家族が救急車のお世話になりました。ありがとうございます。#7119の案内も優しくわかりやすかったです(50代女性)
  - ・ 救急車で大変お世話になっております。家族の命を救っていただき感謝しております。これからは自分から情報を知りたいです(50代女性)
  - ・ 亡き両親は救急隊の方に大変お世話になりとても感謝しています。当時は私は50代でしたが運転免許は持っているものはいなく、両親ともに発作時で歩行できない状態で救急隊の方が心強かったです。大変なお仕事ですが今後ともよろしくお願ひします(70代女性)
  - ・ 過去2回も救急車のお世話になっており感謝してます。一人住まいには最大の頼りです(80代以上男性)
  - ・ 救急車119が早く繋がるようお願いします(70代女性)
  - ・ 救急車の有料化に賛成です(70代男性)
  - ・ 救急車が交差点に進入する際の確認がやりすぎだと思う(50代男性)
  - ・ 私自身は救急車を簡単には呼びません。しかし今後助けてほしい時があるかもしれませんが、有料にはしないでいただきたいです(50代女性)
  - ・ #7119を2度ほど利用。それで1度は救急車を呼んだ(80代以上男性)
  - ・ 119番通報で早急に救急車は来てくれるのですが、受け入れ先の病院に長時間要するのが残念です(70代女性)
  - ・ 軽症なのにタクシーがわりに何回も救急車を呼ぶ人は断っても良いと思えます。本当に救急搬送が必要な人の搬送が遅れてしまうのはよくないです(60代女性)
  - ・ 救急車で3回ほどお世話になりました。不安な気持ちを落ち着かせてくださる対応に改めて感謝申し上げます。常に緊張を強いられるお仕事をされている皆様に頭が下がります(70代女性)
  - ・ 救急搬送先の病院を迅速にできるようにしてほしい(70代男性)
  - ・ 119番で救急車を呼ばせて頂いたことがあります。家族が意識不明になり、救急車を呼び、救急隊の方と電話をしている間に意識が戻りました。それが同一人物で2回あるので、これからまた同じことが起こった時に救急車を呼んでいいものか迷ってしまいます。意識が無いと焦ってしまうため、#7119に電話している心の余裕がありません。救急車が足りないのに何度も呼んでしまうのが心苦しいです。(40代女性)

## ■その他の要望など

- ・ 救急相談について、つながらない時があるので、回線を増やしてほしい（40代男性）
- ・ 災害が多い昨今、備えの講習や訓練など地域でも行って欲しい。（50代女性）
- ・ 緊急の対応などいつもありがとうございます。地域や職場の訓練などできるだけ参加して、いざという時に慌てないように備えたいと思いますので、訓練の場を増やしていただけたら幸いです。（50代女性）
- ・ 110、119番通報した時の住所の説明や状況説明は一般市民には難しい場合もある。GPS住所読み取りやスマホ映像などを簡単に消火対応隊員に届けられれば、初期消火、初期救護にやくだつのかなと思います。（50代男性）
- ・ 消防署(出張所含め)訪れる機会が無い。身近に消防について意識することが少ない。パトロールで消防庁の名前がある車や消防車が走っているだけでも周りの意識は変わってくると思う。（20代男性）
- ・ 道路で救急車が来た時の対応の悪い車が多いことに対して対策を講じて欲しい。止まらない、寄らないなど。（60代女性）
- ・ 地域の児童（幼稚園、保育園、小学校、中学校等）との交流、をもっと増やしてほしい。ワークショップ的なものでも構いません。学校の座学より、実際に業務に携わっているかたからの情報は、記憶にも残りやすいと思います。一人で家で待っていた場合どうするか等、子供の一人時間が増えているため、長期休みの日中に子供一人が家にいた場合、どうするべきか本人も真剣に考える機会が増えるといいなと思います。（30代女性）
- ・ 保育士として働いています。月に一度避難訓練を行っていますが、本当にこんなところから火災は発生するの？など疑問の出ることもあります。保育所はこどもだけではなく、保護者の方にも避難の大切さなどを伝えられる場所です。特に乳幼児のいる家庭は意識が高いので、保育施設に土日などに研修や話をしに来ていただけるとありがたいです。災害時の自分が行わなくてはいけないことも、いまいちわかっていません。（職場で子供と避難した後、どんなことが行われるのかなど）（30代女性）
- ・ #7119に電話したら、すぐに自動音声に切り替えられた。休日に事故によるけがで病院を探していたのですが、探すに至る状況や具体的な状態を聞くことなく切り替えられた。アドバイスがほしかったのに、自分でネットでしらべてるのと何ら変わらない。上手くまとめて表現できないので、急いではいるがもっと、聞き取って、くみ取ってほしかった。（50代女性）
- ・ お疲れ様です。最近、YouTube等で車中泊が流行しているようですが、車内での火災予防についての注意喚起もお願いできればと思います。以上よろしくお願いたします。（60代男性）
- ・ 上級救命講習の枠がすぐに満員になり、参加したくとも申し込めない状況です。個人が気軽に参加できるように枠を増やしていただければ幸いです。（20代男性）
- ・ 災害時に救急車や消防車を呼ぶのにつながるメールを作って欲しい。すぐにはこれなくてもいつか来てくれるという安心感があると思います。（40代女性）
- ・ 防災対策や高齢者の方や小さい子供がいる家庭にもっと防災への意識や知識を教えてほしいし、注意喚起を徹底強化してほしい。私も含め全体的に皆知識不足で危ないし危険だと思います。（20代女性）
- ・ 大地震、水害への対策等よろしくお願いたします。119番連絡時、よろしくお願いたします。（70代男性）
- ・ 緊急時に電話が繋がらず怖い思いをしたので電話が繋がることを検討していただきたいと思います（80代以上女性）

- ・ 仕事の関係で年1~2回消防署に行き、内勤の方々の業務状況を見てきます。また通報による行動の他にも地域の巡回を頻度を上げてください（80代以上男性）
- ・ たいへん行き届いた対応をしていただき心より感謝致しております。119番の方々に後日感謝をいたしたいといつもその都度思っていますがその方法があったら教えてもらいたいと思っています。（80代以上女性）
- ・ 119番通報がすぐに連絡が取れるようにしていただければと思います（40代男性）
- ・ 不要不急の119番通報の対応対策をしていただきたい（あまりに酷い内容の場合罰金など法律を作る）。税金のみならず職員の方、医療機関の方そして本当に必要な方への負担があってはならない（実際に友人のお祖父様が救急車の到着の遅れにより亡くなられた）。医療機関と連携してドクターカー等のさらなる活動が増えると心強いです。（20代女性）
- ・ 誰でも気軽に参加できるような救急救命の研修を充実してほしいと思います（フォローも含む）（60代男性）
- ・ 本当に必要な人が必要な時に助けられるようにしてほしい。無駄な通報などにペナルティを課すなども検討すべき（50代男性）
- ・ Q7で#7119夜間に見てもらえる病院があるか相談したことがあります。録音メッセージに変わり病院名と電話番号が案内されました。しかし電話してみるとその病院では受け付けてもらえませんでした。録音メッセージを流して終わりではなくその日に見てもらえる夜間当番のような病院を教えてください（60代女性）
- ・ #7119が繋がらない時が多いので多忙ではあると思いますが改善していただきたいと感じました（50代女性）
- ・ 迷惑通報への罰則規定の制定（70代男性）
- ・ もっと地域の中で家庭内の防災対応講習を実施してほしいです。（40代女性）
- ・ #7119に電話した時に話中で、繋がらなかったことがあるので、常に繋がるようにしてほしい。（30代女性）

#### ■その他

- ・ 過去、職場を通じて防災意識が高まっていたが、それがないと情報に触れることがない。特に働いている者の場合、地域活動の参加ができにくいし、賃貸物件で暮らしている場合は近隣との付き合いがなく、なおさら接点がないので、いちばん時間を過ごす場所で啓蒙活動などがあればありがたい。（50代女性）
- ・ 迷惑電話が増えて本当に必要な方への電話が行き届きにくくなるとお聞きするのでその対応がよくなればと思います。（30代男性）
- ・ 消防庁の皆さま、いつも有難うございます。最近、想定以上の異常な暑さに体調を崩される方も多く、また安易に救急車を呼ぶ方が多く、よく救急のサイレンの音も耳にし、救急のひっ迫状態を肌で感じていて、本当に必要とされてる方に向かっているのか心苦しく感じていました。皆で、体調を崩さない工夫や、積極的な学び、また防災意識を高め生活していきたいですね。（50代女性）
- ・ 平日フルタイムで仕事をしている為、居住地域のイベント等に参加できない。土日祝日、もしくは平日の夜オンラインで参加可能なイベントがあれば積極的に参加したい。（30代女性）
- ・ 身体の不自由な娘(人工呼吸器使用)がおり、地震や火事などの際はどうやって逃げたら…と考えると不安が大きいです。（40代女性）
- ・ 人員不足や後継者不足などについて、各方面にて問題が出ているため、これらを補うためにもAIによる自動管理システム等を導入するといった事が今後、必要に迫られる可能性が高くなっていくか

と思います。最初は電話の効率的な転送システムや（自動的に発信者の近くの回線が比較的空いている施設に回す）病院、消防、自衛隊、警察等の個別での治療施設ではなく、国による大規模な治療施設への統合といった対応が必要なのかもしれないと考える次第です。（30代男性）

- ・ 災害が多くなっており訓練など参加したいと思っていました（50代女性）
- ・ 心臓マッサージやAEDの使い方は自身ではなかなか講習など受けないので、社内で年に一回必ず全員受けるなどの機会があればいいと思う。AEDは過去一度使ったことがあるが、AEDが設置してある場所が少ない。（30代女性）
- ・ 都内全ての市区町村での定期的な防災訓練及び、応急処置の仕方の啓発及び義務化。（30代男性）
- ・ つい先日救急車を要請しました。とても迅速に対応して頂いて助かりました。119をする前に#7119に連絡をして近隣の病院を紹介頂きましたが救急外来では受け入れてもらえませんでした。（30代女性）
- ・ #7119は良いシステムだと思います。（70代女性）
- ・ #7119をもっと知ってもらうように工夫してほしい。咄嗟にこの番号は思いつかない。例えばスマホなどの緊急連絡先にボタンを設けるなど。（50代男性）
- ・ 消防署の署員を大幅に増やす。救急車両等の拡充と十分な訓練。出来たら公開訓練（学校ではなく地域で）小規模でも良いので広い範囲で。地域住民とのコミュニケーションを図り安心感を育てる。=各署持ち回りでイベント等を行う、地域の巡回（車両ではなく徒歩で）、年末の夜警に署員も参加する等 etc・・・（70代男性）
- ・ タクシー代わりに利用する人は料金を払うシステムになればいいと思う。ご苦労さまです。（60代女性）
- ・ 子供を通して親への啓発、意識付けに繋がりますので、子供との関わりはとても大事としました。普通に生活していると、救急車も消防車もなかなか縁がありませんので、自分から情報を取りに行かないと入って来ない事が多くなります。（40代女性）
- ・ 最近、YouTubeのショート動画で、防災に関する豆知識を見かけます。ショート動画であれば、職場や車内でも、確認しやすいので、そのような形での発信は防災の意識向上に繋がっているのではないかなと思います。（50代女性）
- ・ 家庭での対策が、不十分なご家庭が多いという報道をもっと行って頂き認識度を高めるようにして欲しい。（50代女性）
- ・ 消防の仕事はとても重要な仕事だから積極的に職員を増やして頂きたい。しかしながら人口減少で難しい場合は住民に消防の知識を積極的に覚えさせる様なイベントを作って頂きたい。災害に対する備えを幼少期から身に付けさせる、政府も国民にそういった備えが必要な事を発信する必要もある。国民は政府任せにせず、消防署任せにせず、一人一人に消防、災害に対する備えを心構える事を身に付ける事が大事だと思う。（50代女性）
- ・ 119番通報時に所在地がとっさにわからないことが多いです。GPS情報が見れていることを先にお伝えいただけると、通報時の動揺がいくらか和らぐんじゃないかなと思います。（40代女性）
- ・ もっとたくさんの人にこういうふうな身の回りの安全について思いを巡らせる場面を（アンケートに限らず）作ってもらえるといいと思った。（60代女性）
- ・ 消火器は家に置きたいと思っているが購入維持費用が高すぎるので、無償提供などがあると嬉しい。また共有の消火器の場所を増やして欲しい（30代男性）
- ・ 出勤時、交差点でのマイクの呼びかけについて、人によって内容が異なり、一定していない。又、さげびすぎて、何を言っているのか聞きとれない（50代女性）
- ・ 大変重要な任務を果して下さって、ありがとうございます。緊急性の高い救急車の要請に対応頂け

- るようハード・ソフト両面での充実をいっそうはかって下さるとありがたいです。(50代女性)
- ・ 消防の展示、地震体験など子供と参加できるイベントはいいと思います。(60代男性)
  - ・ いつもご苦労様です。たまにTVで電話がかかってきたら虫が出たから何とかしてくれとか関係ない事の電話が鳴るといふのを見て色々な事があるんだなあと見てた覚えがあります。少しでもそういうことが減ればいいなと#7119が全国に知られればいいなと思っています。(30代女性)
  - ・ コロナ禍を経て救急車の出動回数がとても多く大変なお仕事と感じています。今はまだ自分たちで活動できる年齢ですが、突然利用をお願いすることもあると感じるので応急手当ての仕方は勉強したいと考えています(60代女性)
  - ・ アプリの普及、デジタル技術の活用、災害用ロボットなど技術の活用を進めてほしい(30代女性)
  - ・ スマホを使っただけの救命の指示方法はとても良いシステムであり今後も多くのメディアで我々に示していただければ救命に役立つし連絡した側も焦らずに処置に手伝えると思います(70代女性)
  - ・ 救命救護講習をぜひ受講してみたいと思いました(30代女性)
  - ・ 地域のお祭りなどで消防車が来ていると子供も大変興味を持ち資料などいただき家に帰ってからも話題になる。そのような機会が度々あればより身近に感じられるかもしれない(40代男性)
  - ・ アプリなど活用していきたいです(30代女性)
  - ・ キャラクターやイベントを通して消防に関することに興味を持てればいいなと思いました。大人は応急手当ての講習を会社でも積極的に参加できるといいと思います(30代女性)
  - ・ 今までは元気に行脚できていますがいつどんな困難があるかわかりません。もっといろいろなことに関心を持つようにします(70代女性)
  - ・ 住宅用火災警報器が10年過ぎました。交換に電池交換で使用できるのがそっくり替えないとダメなのでものが高すぎる(年齢未回答 男性)
  - ・ 妻が町内会の防災委員をしているので情報は普通の家庭よりはたくさん入ってきます(70代男性)
  - ・ 関係するみなさまのメンタルケアを強化してください。自己中心、理不尽な人々の対応は毅然と公平を持って返してください。まともな人を多く助けてください(30代男性)
  - ・ 人員増強することが職員の方の負担が減るかと思います(20代男性)
  - ・ 今の世の中は地域の関わりが非常に少なくなってきているのが現状です。子供も危険に関することが無知な子が多いので「人を助ける！」気持ちが一人数でも多くの方が思えば生命を救うことにも繋がります。イベントを増やせば災害の危険知識もプラスになります!(30代女性)
  - ・ 他府県との連携がどうなっているのか、よくわかりません。通勤通学、出張などで、都外にいるときも、安心できる様々な対応をお願いします。激務かと思いますが、頑張ってください。(50代男性)
  - ・ テレビの報道番組で消防並びに救急活動を見るたびに業務の大変さを痛感しています。もっと人を増やし署員の勤務時間の削減が必要だと思います。(70代男性)
  - ・ 良く働いて下さり、感謝しております。消防署に行けばいろいろな訓練をしているのはわかりませんが、なかなか出向きません。もう少し身近になれば良いと思います。(70代女性)
  - ・ いつもご苦労様です。消防との関わりがないのでどう対応していいのかわからないです。(70代女性)
  - ・ 消防車や救急車が交差点を通過する際、マイクで発声してる内容がいつも全く何を言ってるのかわからない。内容が周りに伝わるようなマイクを通しての発声の仕方や喋り方などの研究をした方が良いと常々感じている。(30代男性)